

2024年度 シラバス (講義計画)

学校法人 立志舎
東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校
【経理・情報研究学科】

昼間部 商業実務専門課程 経理・情報研究学科 [1年制]

頁数	科目区分	必修・選択必修の別	授業科目	授業形態	第1学年		授業時数合計	単位数合計
					授業時数	単位数		
1	一般科目	選択必修	就職ゼミナールⅢ	講義	20	4	80	4
				演習	60			
2			ビジネスマナー演習	講義	20	4	80	4
				演習	60			
3			O A 講座Ⅰ	講義	20	4	80	4
				演習	60			
4	O A 講座Ⅱ	講義	10	2	40	2		
		演習	30					
5	O A 講座Ⅲ	講義	10	2	40	2		
		演習	30					
6	会計実務	講義	10	2	40	2		
		演習	30					
7	商業簿記応用Ⅱ	講義	20	4	80	4		
		演習	60					
8	会計学応用Ⅱ	講義	20	4	80	4		
		演習	60					
9	工業簿記応用Ⅱ	講義	20	4	80	4		
		演習	60					
10	原価計算応用Ⅱ	講義	20	4	80	4		
		演習	60					
11	税務会計所得税法	講義	20	4	80	4		
		演習	60					
12	税務会計法人税法	講義	20	4	80	4		
		演習	60					
13	税務会計消費税	講義	10	2	40	2		
		演習	30					
14	簿記論Ⅲ	演習	80	4	80	4		
15		簿記論Ⅳ	演習				80	4
16	簿記論Ⅴ	演習	80	4	80	4		
17	簿記論演習Ⅰ	演習	40				2	40
18	簿記論演習Ⅱ	演習	40	2	40	2		
19	簿記論演習Ⅲ	演習	40				2	40
20	簿記論演習Ⅳ	演習	40	2	40	2		
21	簿記論応用Ⅰ	演習	80				4	80
22	簿記論応用Ⅱ	演習	80	4	80	4		
23	簿記論応用Ⅲ	演習	80				4	80
24	簿記論応用Ⅳ	演習	80	4	80	4		
25	財務諸表論Ⅲ	演習	80				4	80
26	財務諸表論Ⅳ	演習	80	4	80	4		
27	財務諸表論Ⅴ	演習	80				4	80
28	財務諸表論演習Ⅰ	演習	40	2	40	2		
29	財務諸表論演習Ⅱ	演習	40				2	40
30	財務諸表論演習Ⅲ	演習	40	2	40	2		
31	財務諸表論演習Ⅳ	演習	40				2	40
32	財務諸表論応用Ⅰ	演習	80	4	80	4		
33	財務諸表論応用Ⅱ	演習	80				4	80
34	財務諸表論応用Ⅲ	演習	80	4	80	4		
35	財務諸表論応用Ⅳ	演習	80				4	80
36	法人税法Ⅲ	講義	20	4	80	4		
		演習	60					
37	法人税法Ⅳ	演習	80	4	80	4		
38	法人税法Ⅴ	演習	80				4	80
39	法人税法Ⅵ	演習	80	4	80	4		
40	法人税法演習Ⅰ	演習	40				2	40
41	法人税法演習Ⅱ	演習	40	2	40	2		

42		法人税法演習Ⅲ	演習	40	2	40	2
43		法人税法演習Ⅳ	演習	40	2	40	2
44		法人税法演習Ⅴ	演習	40	2	40	2
45		法人税法演習Ⅵ	演習	40	2	40	2
46		法人税法応用Ⅰ	演習	80	4	80	4
47		法人税法応用Ⅱ	演習	80	4	80	4
48		法人税法応用Ⅲ	演習	80	4	80	4
49		法人税法応用Ⅳ	演習	80	4	80	4
50		法人税法応用Ⅴ	演習	80	4	80	4
51		法人税法理論演習Ⅰ	演習	80	4	80	4
52		法人税法理論演習Ⅱ	演習	80	4	80	4
53		相続税法Ⅲ	講義 演習	20 60	4	80	4
54		相続税法Ⅳ	演習	80	4	80	4
55		相続税法Ⅴ	演習	80	4	80	4
56		相続税法Ⅵ	演習	80	4	80	4
57		相続税法演習Ⅰ	演習	40	2	40	2
58		相続税法演習Ⅱ	演習	40	2	40	2
59		相続税法演習Ⅲ	演習	40	2	40	2
60		相続税法演習Ⅳ	演習	40	2	40	2
61		相続税法演習Ⅴ	演習	40	2	40	2
62		相続税法応用Ⅰ	演習	80	4	80	4
63		相続税法応用Ⅱ	演習	80	4	80	4
64		相続税法応用Ⅲ	演習	80	4	80	4
65		相続税法応用Ⅳ	演習	80	4	80	4
66		相続税法応用Ⅴ	演習	80	4	80	4
67		相続税法理論演習Ⅰ	演習	80	4	80	4
68		相続税法理論演習Ⅱ	演習	80	4	80	4
69		消費税税法Ⅲ	演習	80	4	80	4
70		消費税税法Ⅳ	演習	80	4	80	4
71		消費税税法Ⅴ	演習	80	4	80	4
72		消費税税法演習Ⅰ	演習	40	2	40	2
73		消費税税法演習Ⅱ	演習	40	2	40	2
74		消費税税法演習Ⅲ	演習	40	2	40	2
75		消費税税法演習Ⅳ	演習	40	2	40	2
76		消費税税法演習Ⅴ	演習	40	2	40	2
77	選択必修	消費税税法演習Ⅵ	演習	40	2	40	2
78		消費税税法応用Ⅰ	演習	80	4	80	4
79		消費税税法応用Ⅱ	演習	80	4	80	4
80		消費税税法応用Ⅲ	演習	80	4	80	4
81		消費税税法応用Ⅳ	演習	80	4	80	4
82		財務会計論Ⅷ	演習	40	2	40	2
83		財務会計論演習Ⅱ	演習	80	4	80	4
84		財務会計論演習Ⅲ	演習	120	6	120	6
85		財務会計論演習Ⅳ	講義 演習	20 100	6	120	6
86		財務会計論演習Ⅴ	演習	80	4	80	4
87		管理会計論Ⅷ	演習	40	2	40	2
88		管理会計論演習Ⅱ	演習	80	4	80	4
89		管理会計論演習Ⅲ	演習	80	4	80	4
90		管理会計論演習Ⅳ	講義 演習	20 60	4	80	4
91		管理会計論演習Ⅴ	演習	40	2	40	2
92		監査論演習Ⅰ	演習	80	4	80	4
93		監査論演習Ⅱ	講義 演習	30 50	4	80	4
94		監査論演習Ⅲ	講義 演習	20 20	2	40	2
95		会社法演習Ⅰ	演習	80	4	80	4

専門科目

選択必修

96	会社法演習Ⅱ	演習	80	4	80	4
97	会社法演習Ⅲ	講義	20	4	80	4
		演習	60			
98	会社法演習Ⅳ	講義	20	4	80	4
		演習	60			
99	経営学Ⅱ	講義	40	4	80	4
		演習	40			
100	経営学演習Ⅰ	演習	120	6	120	6
101	所得税法Ⅱ	演習	40	2	40	2
102	租税法Ⅱ	講義	40	4	80	4
		演習	40			
103	租税法演習Ⅰ	演習	120	6	120	6
104	コンピュータシステム演習Ⅰ	講義	20	4	80	4
		演習	60			
105	総合演習Ⅳ	講義	10	2	40	2
		演習	30			
106	プレゼンテーション応用演習	講義	20	4	80	4
		演習	60			
107	Java演習Ⅰ	講義	20	4	80	4
		演習	60			
108	ハードウェア演習	講義	20	4	80	4
		演習	60			
109	ソフトウェア演習	講義	20	4	80	4
		演習	60			
110	システム設計演習	講義	20	4	80	4
		演習	60			
111	総合演習Ⅴ	講義	20	4	80	4
		演習	60			
112	Java演習Ⅱ	講義	20	4	80	4
		演習	60			
113	システム開発演習Ⅰ	講義	10	2	40	2
		演習	30			
114	システム開発演習Ⅱ	講義	10	2	40	2
		演習	30			
115	情報分析応用演習	講義	20	4	80	4
		演習	60			
116	プレゼンテーション応用演習	講義	10	2	40	2
		演習	30			
117	情報処理技術者試験対策Ⅳ	講義	20	4	80	4
		演習	60			
118	情報処理技術者試験対策Ⅴ	講義	20	4	80	4
		演習	60			
119	Webアプリ開発応用	講義	20	4	80	4
		演習	60			
120	Webアプリ開発応用演習	講義	20	4	80	4
		演習	60			
121	モバイルアプリ開発応用	講義	20	4	80	4
		演習	60			
122	モバイルアプリ開発応用演習	講義	20	4	80	4
		演習	60			
123	JavaScript応用	講義	20	4	80	4
		演習	60			
124	JavaScript応用演習	講義	20	4	80	4
		演習	60			
125	卒業システム開発	演習	160	8	160	8
126	卒業制作	演習	160	8	160	8
127	卒業研究	演習	160	8	160	8
	必修科目授業時数		0	0	0	0
	選択必修科目授業時数		9,040	452	9,040	452
	卒業に必要な総授業時数		800		800	

科目名：就職ゼミナールⅢ

開講年次：1年

単位数：4

種類：一般科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：渋谷恭兵

[講義主要目標及び講義概要]

社会人になるにあたって必要となる、社会人としての考え方やマナーについて学ぶ。

[講義・演習項目]

1. 礼儀・マナーの知識
2. 敬語表現
3. 話し方の基本
4. 会社組織
5. 職場の人間関係
6. ビジネスマナー
7. 映像等による事例研究

[テキスト]

定番SPI基礎ベシック、定番SPI問題集、必要に応じプリントを配布する。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： ビジネスマナー演習

開講年次： 1年

単位数： 4

種類： 一般科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 80

担当教員： 渋谷恭兵及び実務経験のある
教員(人材育成業務に携わった実績
がある企業担当者)

[講義主要目標及び講義概要]

ビジネス社会に適応するためにコミュニケーションの重要性及び仕事の進め方を考え、職場で実践できるビジネスマナーを習得する。

[講義・演習項目]

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. ビジネスマナーとは | 9. デザイン思考ワーク |
| 2. 身だしなみ、社会のルール | 10. プレゼン資料の作成 |
| 3. ビジネスシーンでの言葉遣い | 11. レビュー |
| 4. ビジネス文書作成 | 12. |
| 5. オフィスワーク | |
| 6. ロジカルコミュニケーション | |
| 7. プレゼンテーション技法 | |
| 8. デザイン思考のプロセス | |

[テキスト]

種々のプリントを配布する。

[成績評価]

成績評価は、連携する企業と事前に打ち合わせを行って取り交わした方法と、授業期間中に提出されたレポート及び報告書、出席等を総合して判断する。

科目名：OA講座 I

開講年次：1年

単位数：4

種類：一般科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習 授業時数：80

担当教員：鈴木祐一、佐藤祐仁

[講義主要目標及び講義概要]

ビジネスソフトであるMicrosoft Wordの基本機能と操作方法を学習し、ビジネス文書の作成ができるようにする。

[講義・演習項目]

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 文書の作成と管理 | 9. 参考資料（脚注・文末脚注）の挿入と変更 |
| 2. 文書の書式設定 | 10. 参考資料（資料文献）の挿入と変更 |
| 3. 文書のオプション | 11. 参考資料（図表番号）の挿入と変更 |
| 4. 文字、段落の書式設定 | 12. 目次の挿入と更新 |
| 5. セクション、ページの書式設定 | 13. 表紙の作成 |
| 6. 印刷設定 | 14. |
| 7. 表の作成と変更 | 15. グラフィック要素の挿入と書式設定 |
| 8. リストの作成と変更 | 16. SmartArtの作成と書式設定 |

[テキスト]

よくわかるマスター MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：OA講座Ⅱ

開講年次：1年

単位数：2

種類：一般科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習 授業時数：40

担当教員：鈴木祐一、佐藤祐仁

[講義主要目標及び講義概要]

ビジネスソフトであるMicrosoft Excelの基本機能と操作方法を学習し、集計表やグラフの作成ができるようにする。

[講義・演習項目]

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. ワークシートやブックの作成と管理 | 9. テーブルスタイルのオプション |
| 2. ワークシートやブックの書式設定 | 10. フィルターと並べ替え |
| 3. ワークシートやブックのオプション | 11. 数式や関数を使用した演算の実行 |
| 4. ヘッダー、フッターの調整 | 12. 集計関数 |
| 5. 印刷設定 | 13. 条件付き関数 |
| 6. セルやセル範囲のデータの管理 | 14. |
| 7. セルやセル範囲の書式設定 | 15. グラフやオブジェクトの作成 |
| 8. テーブルの作成 | 16. グラフやオブジェクトの書式設定 |

[テキスト]

よくわかるマスター MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：OA講座Ⅲ

開講年次：1年

単位数：2

種類：一般科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習 授業時数：40

担当教員：鈴木祐一、佐藤祐仁

[講義主要目標及び講義概要]

ビジネスソフトであるMicrosoft PowerPointの基本機能と操作方法・発表方法を学習し、効果的なプレゼンテーション資料の作成ができるようにする。

[講義・演習項目]

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. スライドの作成、書式設定 | 9. SmartArt、メディアの挿入と書式設定 |
| 2. Wordからのインポート | 10. 画面切り替えの挿入と効果 |
| 3. スライドマスターの変更 | 11. コンテンツに対するアニメーションの設定 |
| 4. 配布資料・ノートマスターの使用 | 12. スライドショーのタイミング設定 |
| 5. 配布資料・ノートマスターの印刷 | 13. 複数のプレゼンテーションのコンテンツ統合 |
| 6. スライドショーの設定と実行 | 14. |
| 7. テキスト、図形、画像の挿入と書式設定 | 15. プレゼンテーションのエクスポート |
| 8. 表、グラフの挿入と書式設定 | |

[テキスト]

よくわかるマスター MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： 会計実務

開講年次： 1年

単位数： 2

種類： 一般科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習 授業時数： 40

担当教員： 実務経験のある教員（東北税理士会に所属する税理士）及び本学教員（鈴木祐一、佐藤祐仁）

[講義主要目標及び講義概要]

給与計算と源泉徴収、年末調整の仕組みについて学ぶ。また、将来必要になる場合に備えて、国税電子申告・納税システム（e-Tax）による確定申告書の作成方法を学ぶ。

[講義・演習項目]

1. 各種所得金額の計算
2. 所得控除額の計算
3. 所得税額の計算
4. 給与計算と源泉徴収
5. 年末調整
6. 給与所得者で確定申告が必要な人
7. e-Taxによる確定申告書の作成

[テキスト]

所得税法テキスト2級および3級

[成績評価]

成績評価は、連携する企業と事前に打ち合わせを行って取り交わした方法と、授業期間中に提出されたレポート及び確認テスト、出席等を総合して判断する。

科目名：商業簿記応用Ⅱ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習 授業時数：80

担当教員：鈴木祐一、佐藤祐仁

[講義主要目標及び講義概要]

経営者が経営管理や経営計画の意思決定等を行うための高度な会計問題について網羅的に学習し、簿記技能の上級の修得を目指す。

[講義・演習項目]

1. 財務諸表の分析
2. 商品売買（総記法）
3. ヘッジ取引の会計処理
4. 資産除去債務
5. 固定資産の減損損失
6. リース会計（貸手の処理）
7. 在外支店の為替換算
8. 在外子会社の為替換算
9. 連結会計（持分法）

[テキスト]

本学園の商業簿記テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：会計学応用Ⅱ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習

授業時数：80

担当教員：鈴木祐一、佐藤祐仁

[講義主要目標及び講義概要]

企業の外部利害関係者に対して、企業内容の実態開示を目的とする高度な財務会計の習得をめざす。

[講義・演習項目]

1. 棚卸資産の評価に関する基準
2. 研究開発費等に係る基準
3. ストック・オプションに関する事項
4. 企業結合に関する基準
5. 事業分離に関する事項
6. 四半期財務諸表に関する事項
7. 株主資本等変動計算書

[テキスト]

本学園の財務会計のテキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：工業簿記応用Ⅱ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習 授業時数：80

担当教員：鈴木祐一、佐藤祐仁

[講義主要目標及び講義概要]

工業簿記の決算書類、標準・直接原価計算、本社工場までの基本的な仕訳及び勘定記入を学習し、財務諸表作成の工業簿記技能の修得を目指す。

[講義・演習項目]

1. 工業簿記の決算整理仕訳
2. 製造原価計算書の作成
3. 標準原価計算と原価カード
4. 標準原価計算の差異分析
5. 直接原価計算
6. 本社工場会計

[テキスト]

本学園の工業簿記テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：原価計算応用Ⅱ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：講義・演習 授業時数：80

担当教員：鈴木祐一、佐藤祐仁

[講義主要目標及び講義概要]

企業の経営管理者が行う業務計画や原価管理の意思決定等の手法を学ぶとともに、将来の原価予測・予算編成・業績評価等の技法を修得する。

[講義・演習項目]

1. 操業度差異の再検討
2. 予算実績比較
3. 標準原価差異の表示
4. 原価予測方法
5. 経済的発注量計算
6. 資本配分計算
7. 業績評価
8. 品質原価計算

[テキスト]

本学園の工業簿記・原価計算テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： 税務会計所得税法

開講年次： 1年

単位数： 4

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習 授業時数： 80

担当教員： 鈴木祐一、佐藤祐仁

[講義主要目標及び講義概要]

所得税の体系、法概念及び基本的な税額算定方法について学び、検定試験の合格を目指す。その他の税法も学ぶ。

[講義・演習項目]

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 所得税の概要 | 9. 税額控除額の計算 |
| 2. 10所得の種類 | 10. 申告等 |
| 3. 各種所得の金額の計算方法 | 11. 源泉徴収制度 |
| 4. 課税標準の計算 | 12. その他の租税 |
| 5. 所得控除額の計算 | |
| 6. 課税所得金額の計算 | |
| 7. 納付税額の計算 | |
| 8. 税額控除の種類 | |

[テキスト]

本学テキスト

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： 税務会計法人税法

開講年次： 1年

単位数： 4

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習

授業時数： 80

担当教員： 鈴木祐一、佐藤祐仁

[講義主要目標及び講義概要]

法人税の体系、法概念及び基本的な税額算定方法について学び、検定試験の合格を目指す。その他の税法も学ぶ。

[講義・演習項目]

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 法人税の概要 | 9. 役員の給与 |
| 2. 収益・費用の認識 | 10. 租税公課等 |
| 3. 棚卸資産 | 11. 圧縮記帳 |
| 4. 減価償却 | 12. 受取配当等の益金不算入 |
| 5. 繰延資産 | 13. その他の損益 |
| 6. 寄付金 | 14. |
| 7. 交際費 | 15. 所得税額の控除 |
| 8. 貸倒引当金・貸倒損失 | 16. 申告・納税 |

[テキスト]

本学テキスト

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名： 税務会計消費税法

開講年次： 1年

単位数： 2

種類： 専門科目

分類： 選択必修

授業方法： 講義・演習 授業時数： 40

担当教員： 鈴木祐一、佐藤祐仁

[講義主要目標及び講義概要]

消費税の体系、法概念及び基本的な税額算定方法について学び、検定試験の合格を目指す。その他の税法も学ぶ。

[講義・演習項目]

1. 消費税の概要
2. 課税期間
3. 課税・非課税・免税
4. 課税標準および税率
5. 仕入税額控除
6. 売上に係る対価の返還等
7. 貸倒れに係る税額控除等
8. 簡易課税制度
9. 申告・納付・還付

[テキスト]

本学テキスト

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：簿記論Ⅲ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

各種期中取引についての会計処理のうち高度な項目について、本学テキストを使用し会計基準に従い、その内容、会計処理方法を習得する。

[講義・演習項目]

1. 割賦・試用・未着品販売の会計処理
2. 有価証券(保有区分変更の処理など)
3. ヘッジ会計
4. 固定資産(圧縮記帳)
5. 新株予約権の会計処理
6. 在外支店の為替換算方法
7. 消費税の会計処理
8. 本社工場合併財務諸表の作成
9. 請負工事契約(勘定科目の区分など)
10. 帳簿組織

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：簿記論Ⅳ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

各種期中取引についての会計処理のうち高度な項目を、本学テキストを使用し会計基準に従い、その内容、会計処理方法を習得する。また、企業組織再編に関し学習する。

[講義・演習項目]

1. 委託・受託販売などの会計処理
2. 貸倒見積り（財務内容法）
3. 研究開発費の会計処理
4. 剰余金の分配可能額の算定
5. 連結会計（投資と資本の相殺）
6. 企業組織再編に関する会計処理
7. 新株予約権付社債の会計処理
8. 退職給付に関する会計処理
9. 資産除去債務の算定

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：簿記論Ⅴ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

各種期中取引についての会計処理のうち高度な項目について、本学テキストを使用し会計基準に従い、その内容、会計処理方法を習得する。また、中間財務諸表の作成などを学習する。

[講義・演習項目]

1. 委託・受託買付の会計処理
2. 請負工事契約に関する会計処理
3. 株式交換・移転の会計処理
4. 連結会計（持分の変動）
5. 中間財務諸表の作成

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：簿記論演習Ⅰ

開講年次：1年

単位数：2

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：40

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

企業の財政状態や経営成績を利害関係者に報告するための財務諸表の作成をについて、本学の教材にて演習を中心にその内容を理解する。

[講義・演習項目]

1. 現金預金の会計処理
2. 約束手形・為替手形の会計処理
3. 保有目的区分別有価証券の会計処理
4. 減価償却方法、金額の計算
5. 株式発行の会計処理、表示方法
6. 税効果会計の会計処理、表示方法
7. 本支店会計の会計処理
8. 組織再編の形態・合併の処理
9. 特殊仕訳帳制度の転記
10. 伝票会計における日計表作成

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：簿記論演習Ⅱ

開講年次：1年

単位数：2

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：40

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

企業の財政状態や経営成績を利害関係者に報告するための財務諸表の作成に必要な株式会社の会計について、本学の教材にて演習を中心にその内容を理解する。

[講義・演習項目]

1. 分記法・総記法・分割法などの仕訳
2. 割引手形・裏書手形などの会計処理
3. 子会社株式の会計処理、表示方法
4. 社債の発行・償還の会計処理
5. 剰余金処分等の会計処理
6. 税金の分類・会計処理
7. 会社分割における会計処理
8. 報告式損益計算書の作成
9. 株主資本等変動計算書の作成
10. キャッシュ・フロー計算書の作成

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：簿記論演習Ⅲ

開講年次：1年

単位数：2

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：40

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

企業の財務内容を利害関係者に報告するために行うための高度な会計問題について
本学の教材にて演習を中心にその内容を理解する。

[講義・演習項目]

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 小売棚卸法、売上原価対立法の処理 | 9. 外貨建取引の為替換算差額の処理 |
| 2. 割賦・試用・委託販売の会計処理 | 10. 繰延税金資産、負債の算定、表示方法 |
| 3. 債権の貸倒見積高の計算 | 11. 株式交換・移転の会計処理 |
| 4. 自己株式の会計処理、表示方法 | 12. 連結財務諸表の作成 |
| 5. デリバティブ取引の会計処理 | 13. 注記表の作成 |
| 6. 退職給付に関する会計処理 | |
| 7. 社債の買入償還の会計処理 | |
| 8. 分配可能額の算定 | |

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：簿記論演習Ⅳ

開講年次：1年

単位数：2

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：40

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

経営者が経営管理や経営計画の意思決定等を行うための財務諸表の分析、またデリバティブ取引などの高度な会計処理を、本学の教材にて演習を中心にその内容を理解する。

[講義・演習項目]

1. 財務諸表の分析
2. ヘッジ取引の会計処理
3. 臨時巨額の損失の会計処理
4. 固定資産の減損損失の計算
5. リース会計の会計処理
6. 在外支店子会社の為替換算

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：簿記論応用 I

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

結合会計、連結会計について仕組み、会計処理方法について考察する。また、会計処理方法が複数存在する場合には、それぞれの相違点について比較検討する。

[講義・演習項目]

1. 本店・支店独立会計の仕組み
2. 本支店合併財務諸表の作成方法
3. 本社・工場独立会計の仕組み
4. 本社工場合併財務諸表の作成方法
5. 連結会計の仕組み
6. 資本連結
7. 未実現損益の相殺消去
8. 連結会社間取引の相殺処理
9. 連結税効果会計
10. 持分法
11. 連結キャッシュフロー

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：簿記論応用Ⅱ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

組織再編関係のうち、企業結合及び事業分離等について、仕組み、会計処理を考察する。

[講義・演習項目]

1. 組織再編の形態
2. 企業結合と事業分離
3. 吸収合併の会計処理
4. 逆取得の会計処理
5. 吸収分割の会計処理
6. 新設分割の会計処理
7. 株式交換の会計処理
8. 株式移転の会計処理

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：簿記論応用Ⅲ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

企業間比較の透明性を図るための各種基準について、仕組み、会計処理を考察する。また会計処理方法が複数存在する場合には、それぞれの相違点について比較検討する。

[講義・演習項目]

1. 各種基準の必要性、目的
2. 研究開発費の原価要素
3. 研究開発費の会計処理
4. ソフトウェア制作費の会計処理
5. 退職給付に関する会計処理
6. 退職給付費用の会計処理
7. 税効果会計の会計処理
8. 繰延税金資産、繰延税金負債の計上
9. 減損会計

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：簿記論応用Ⅳ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

自己株式、純資産の部の取扱い及び1株当たりの情報について、仕組み、会計処理を考察する。また、会計処理方法が複数存在する場合には、それぞれの相違点について比較検討する。

[講義・演習項目]

1. 貸借対照表の区分表示
2. 純資産の部の表示
3. 株主資本の区分
4. 自己株式の取得及び保有
5. 自己株式の消却
6. 剰余金の会計処理
7. その他資本剰余金からの配当
8. 新株予約権に関する会計処理
9. ストックオプションに関する処理
10. 1株当たり当期純利益の算定
11. 潜在株式に係る調整

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリントを中心とする。

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：財務諸表論Ⅲ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

各種会計基準を考察し、制度会計の内容を理論的に習得する。また、公表用の株主資本等変動計算書、附属明細書に関する基礎項目を学習し、作成を通じてその内容を学習する。

[講義・演習項目]

1. 企業結合会計・事業分離会計
2. 財務諸表
3. キャッシュ・フロー計算書
4. 連結財務諸表
5. 会計上の変更及び誤謬の訂正
6. 外貨建取引
7. 包括利益と純利益
8. 株主資本等変動計算書の様式
9. 附属明細書の作成
10. 分配可能額の算定

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：財務諸表論Ⅳ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

財務会計の機能、制度会計における開示制度の内容を理論的に習得する。また、財務諸表等規則に関する基礎項目を学習し、作成を通じてその内容を学習する。

[講義・演習項目]

1. 概念フレームワーク
2. 財務報告の目的
3. 会計情報の質的特性
4. 財務諸表の構成要素
5. 財務諸表における認識と測定
6. 静態論
7. 動態論
8. 財務諸表等規則
9. 会社法の開示方法
10. 計算書類の公告

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：財務諸表論Ⅴ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

財務会計の将来あるべき姿について理論的に考察し、現行制度会計上の規定との比較検討をしその内容を習得する。また、キャッシュ・フロー計算書に関する基礎項目を学習し、作成を通じてその内容を学習する。

[講義・演習項目]

1. 収益費用アプローチ
2. 資産負債アプローチ
3. 時価主義
4. 割引現価主義
5. 投資のリスクからの解放
6. キャッシュ・フロー計算書の作成
7. 連結財務諸表の作成

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：財務諸表論演習Ⅰ

開講年次：1年

単位数：2

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：40

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

会社法の規定による外部公表用の貸借対照表の作成に関して、資産・負債・純資産に属する項目及び貸借対照表関連の注記表への記載事項について、本学の教材にて演習を中心にその内容を理解する。

[講義・演習項目]

1. 貸借対照表の表示区分
2. 資産の部の区分
3. 負債の部の区分
4. 純資産の部の区分
5. 貸倒引当金等の表示
6. 減価償却累計額の表示
7. 減損損失累計額の表示
8. 関係会社株式等の表示
9. 繰延税金資産等の表示
10. 新株予約権の表示
11. 貸借対照表等に関する注記

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：財務諸表論演習Ⅱ

開講年次：1年

単位数：2

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：40

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

会社法の規定による外部公表用の損益計算書の作成に関して、収益・費用に属する項目及び損益計算書関連の注記表への記載事項について、本学の教材にて演習を中心にその内容を理解する。

[講義・演習項目]

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 損益計算書の区分 | 9. 包括利益 |
| 2. 売上総損益金額 | 10. 損益計算書に関する注記 |
| 3. 営業損益金額 | |
| 4. 経常損益金額 | |
| 5. 税引前当期純損益金額 | |
| 6. 法人税等 | |
| 7. 法人税等調整額 | |
| 8. 当期純損益金額 | |

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：財務諸表論演習Ⅲ

開講年次：1年

単位数：2

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：40

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

会社法の規定による株主資本等変動計算書、注記表、附属明細書の作成及び株主資本等変動計算書関連の注記表への記載事項について、本学の教材にて演習を中心にその内容を理解する。

[講義・演習項目]

1. 株主資本等変動計算書の区分
2. 注記表の区分
3. 注記の方法
4. 継続企業的前提に関する注記
5. 重要な会計方針に係る注記
6. 株主資本等変動計算書に関する注記
7. 税効果会計に係る注記
8. リース固定資産に関する注記
9. 1株当たり情報に関する注記
10. 重要な後発事象に関する注記
11. 附属明細書の種類

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：財務諸表論演習Ⅳ

開講年次：1年

単位数：2

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：40

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

財務諸表等規則の規定による財務諸表の作成及び会社法の規定による計算書類の開示方法について、本学の教材にて演習を中心にその内容を理解する。

[講義・演習項目]

1. 会社法の貸借対照表との相違点
2. 会社法の損益計算書との相違点
3. キャッシュ・フロー計算書の区分
4. 計算書類の開示制度
5. 計算書類の開示日程
6. 計算書類の公告
7. 貸借対照表の要旨
8. 損益計算書の要旨

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：財務諸表論応用Ⅰ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

貸借対照表、損益計算書等の財務諸表の作成原則を中心に、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、四半期財務諸表の計算書類の必要性を理論的に考察し、表示区分、会計処理に関する知識を習得する。

[講義・演習項目]

1. 貸借対照表の本質・完全性の原則
2. 貸借対照表の作成原則
3. 損益計算書の作成原則
4. 株主資本等変動計算書の必要性
5. 株主資本等変動計算書の表示区分
6. キャッシュ・フロー計算書の意義
7. 資金の範囲
8. 四半期財務諸表の必要性
9. 四半期財務諸表の性質
10. 四半期財務諸表作成の会計処理
11. 連結財務諸表

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：財務諸表論応用Ⅱ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

各種会計基準について意義及び必要性に関して理論的に考察し、その基本的内容を習得する。

[講義・演習項目]

1. 会計思想の時代的変遷
2. 資産負債アプローチの概念
3. 減損会計の意義、必要性
4. 研究開発費の意義、範囲
5. ソフトウェアの意義、範囲
6. 税効果会計の意義、必要性
7. 外貨建取引の範囲
8. 外貨建取引の換算相場
9. リース取引の意義、分類

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：財務諸表論応用Ⅲ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

各種会計基準についての具体的な論点に関して理論的に考察し、高度な内容を習得するとともに、実践的な計算の技術を身に付ける。

[講義・演習項目]

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 減損会計の対象資産 | 9. 為替換算方法 |
| 2. 減損の兆候、損失の認識・測定 | 10. 為替換算差額の処理 |
| 3. 減損損失の会計処理、表示 | 11. 在外支店の換算 |
| 4. 割引現価主義による認識・測定 | 12. 在外子会社の換算 |
| 5. セール・アンド・リースバック | |
| 6. 一時差異と永久差異 | |
| 7. 繰延税金資産と繰延税金負債 | |
| 8. 繰延法と資産負債法 | |

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：財務諸表論応用Ⅳ

開講年次：1年

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

授業時数：80

担当教員：鈴木 祐一、高橋 大

[講義主要目標及び講義概要]

企業を取巻く経済環境の変化及び取引の多様化に伴う利害関係者への企業実態を適切に開示するための会計処理について考察し、その内容を理論的に理解する。

[講義・演習項目]

1. デリバティブ取引の種類
2. デリバティブ取引の会計処理
3. ヘッジ対象とヘッジ手段
4. 繰延ヘッジと時価ヘッジ
5. トレーディング目的の棚卸資産
6. ソフトウェア制作費の会計処理
7. 組織再編に関する会計処理
8. 包括利益の意義
9. 包括利益の測定と表示

[テキスト]

本学テキスト、種々のプリント

[成績評価]

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。